

回答書

回答者の氏名： 本井敏雄

I

1) 残存するアスベスト使用状況の把握について

賛成です。

理由： 市民へのリスクを最小限にするためです。

2) リスクコミュニケーションの実践について

賛成です。

理由： 同上

3) アスベスト対策協議会の設置や新たな条例制定について

賛成です。

理由： 同上

4) 阪神淡路大震災のアスベスト健康被害の調査と検査実施について

賛成です。

理由： 同上

II

1) 無電柱化システムを積極的に導入することについて

賛成です。

理由： 高齢者・障がい者の通行の障害を取り除き、また美観形成のため。

2) 宅地造成の安全基準について

その他（どちらともいえません）

理由： 市の認可には理由があるはずで、個別判断が必要なものもあるのではないかと考えます。

III

アスベスト対策は、いずれにしても調査を十分に実施し、関係者や作業員に対するリスクも最大限カットする方向で取り組みます。

無電柱化は、優先順位を決め、可否を判断した上で、予算が許す限り推進します。

宅地造成の安全性は、個々の事例について工法等に関し十分な調査を実施し、必要十分な対策ができるよう、また必要に応じて専門家の意見を聞く等して安全性を確保します。